

# 参加者の9割が知らなかった間違えていた重要事項



お子様のより順調な成長のために、理解しておくべき事柄を一緒に考えてみませんか。

子どもが...

## 新、「学習指導要領」と親のアップデートについて

新学習指導要領となり学校教育の変化に伴う、親が理解すべき事柄

## 新、「高校入試制度」の正しい理解について

2020年度入試から改正の新しい高校入試制度の概要とその対応法

## 「教科書」重視法と成果

最大限の学習成果が図られる「教科書学習法」

## 自己流の勉強から生じる問題と対策

日々の宿題等の「自己流勉強」で身に着けてはいけないこと

## 集団授業における留意点と対策

全体で学ぶ集団授業で、「自分に応じた学び」の実践とは

## 成績と勉強取組み、さらに日常生活

成績は、学習量など「勉強取組み」の評価とする側面がある。その取組み方は、日常の家庭生活で大きく育まれる。

## 高校入試「合否の判定」基準と「調査書」

高校入試の合否には、中学1年生からの9教科評定値が学力検査同様の比重で存在していること。

## 親の「理解」が子どもを伸ばす！

これまで、約30年の塾運営から明らかなことは、順調な成長を成し遂げる子どもの共通事項として、「親」の理解度が大きく影響する事実です。

親の行動が、子どもを伸ばす。  
**親、考える。**

勉強をするのはあの子  
努力をするのもあの子  
未来を生きるのもあの子  
だから今、親にできること



- 単元テストにおいて、全教科100点を継続する小6生。
- 小6年から超難高校進学対策を本格実施する受講生。
- 福島大学附属中学校受験準備対策を実施する小5生。

- 松陵中上位(中1生2位、中2生1位、中3生1位)獲得。
- 松陵中2年の学年1位を含む7位までの5名が学院生。
- 入塾3ヶ月の対策で、80番台から学年3位へ上昇。

- 松陵中学年1位・2位・3位の上位を学院生が独占。
- 入塾半年で5教科220点アップし、学年上位へ躍進。
- 県統一模試、全県順位25位に上昇した中学2年生。

- 国公立大学への入学対策をスタートさせた高1生3名。
- 難関高校において、平均評定値4.5を継続の高2生。